

脳神経内科



脳神経内科

脳神経内科は脳・脊髄・末梢神経や筋肉の病気を内科的に診断・治療することにより、脳を守り、脳を救う内科です。



研修内容

【概要】

当科は、地域中核病院のなかの脳神経内科として、高水準の医療を提供するとともに、神経救急疾患の診療に積極的に取り組んでいます。そのために頭痛・めまい・しびれといった一般的な神経疾患から専門性の高い神経疾患まで豊富で多彩な神経疾患の研修が可能です。

【診療実績】

2017年の当科の入院患者は574名で、急性期脳梗塞を主体とした脳血管疾患（143名）が最も多く、重症筋無力症や多発性硬化症といった神経免疫疾患（63名）は全国でも有数の診療実績があり、パーキンソン病や脊髄小脳変性症といった神経変性疾患（104名）などの診療も積極的に行っています。総合病院のなかの脳神経内科として糖尿病や膠原病といった全身疾患に伴う神経筋疾患、髄膜炎・脳炎などの神経感染症、頭痛やてんかんなどの発作性疾患、末梢神経疾患、筋疾患などの診療にも豊富な経験があり、幅広い神経疾患の充実した研修が可能です。

【検査】

神経学的補助検査として、神経伝導検査・針筋電図・誘発脳波（400件/年）、頸動脈超音波検査（200件/年）など多くの症例を経験し、習熟することができます。

【治療】

脳血管疾患に対する血栓溶解療法、抗血小板療法や抗凝固療法、神経免疫疾患ではステロイドパルス療法、免疫抑制・調整薬、免疫グロブリン療法、血液浄化療法などを最新の治療指針にもとづいて適切に選択し、パーキンソン病においては病状に応じた治療の選択と調整を習得することができます。

【認定医・専門医】

当科は総合内科専門医2名、内科認定医5名、神経内科専門医3名、脳卒中専門医2名などがあり、研修終了時にはこれらの認定医・専門医を取得することが目標です。

平成30年4月

書式を変更: フォント: (英) MSゴシック, (日) MSゴシック, 8 pt, 太字 (なし)

書式を変更: フォント: (英) MSゴシック, (日) MSゴシック, 8 pt, 太字 (なし)

書式を変更: フォント: (英) MSゴシック, (日) MSゴシック, 8 pt, 太字 (なし)

書式を変更: フォント: (英) MSゴシック, (日) MSゴシック, 8 pt, 太字 (なし)